



2025(令和7)年度 7月号

桜丘だより



2025年7月15日 西脇市立桜丘小学校

〒679-0322 西脇市黒田庄町石原 1470

TEL 28-2203 FAX 28-2992

sakurasyo-vp@city.nishiwaki.ed.jp



「お花見タイム」で子どもをはげます



生活指導担当

今年度から、桜丘小学校で勤務しています。桜丘小に勤務するようになり、まず目に飛び込んできたのは自然の豊かさです。4月の満開の桜に始まり、周囲の山々の新緑の美しさ。校内では、中庭で花苗を育て、運動場端の畑では、各学年で野菜作りをしています。また、教室では、校庭で捕まえた虫などを飼育しています。だれかが必要な飼育ケースを持参し、だれかが休み時間にエサを捕ってきて、それをクラスみんなで与えています。だれかが名前を付けて、その名前をクラスみんなが呼び、みんなでかわいがっている姿が毎日のように見られます。このように、豊かな自然の中、協力して活動している子どもたちの姿がたくさん見られます。

しかし、学校生活を送っていると、時には、ルール違反や行き違いのトラブルが発生します。そこで生活指導委員会では、「桜丘小学校の生活のきまり」を設定しています。今年度も、人・時間・物を大切にすることを重点目標としました。

昨年度始めた「お花見タイム」という取り組みを、今年度も継続して取り組むことにしました。教職員が、自身が見つけた子どもたちのよいところを teams 上で書き込み、子どもたちはタブレットからそれを見ることができるといものです。

来校者に元気よくあいさつしていた子のこと、低学年の子を気遣いながら連れてきてくれている通学班長さんのこと、自然学校で学校に居ない5年生の掃除場所を、自主的に掃除してくれる4年生のこと、プールそうじに一生懸命取り組んでいる4、5、6年生の姿……。自分にできることをがんばっている子や大切にしたいことをしっかりと守ろうとしている子の姿を、全校生に向けてお知らせする場所になっています。

ただ「きまり」を守っている姿を称賛するだけでなく、「きまり」にはなっていないくても、だれかのために思いやりの心をもって行っている子どもたちの姿を目にした教職員が、「桜丘小の子どもは、こんなに素敵なんだ」という思いを込めて、対象の子どもたちだけに返すのではなく、全校児童に知ってほしくて発信をしています。

子どもたちも「お花見タイム」が大好きです。誰のことが書かれているのかにかかわらず、隅々まで熱心に読んでいます。

<7月・8月・9月の予定>

(※毎週金曜日は職員定時退勤日です。)

日	月	火	水	木	金	土
7/13	14	15	16	17	18	19
	水曜時程 14:20 一斉下校 おかえり運動 (~18日)	水曜時程 14:20 一斉下校	放課後読み聞かせ教室	水曜時程 地区別児童会 大掃除・ワックス 14:20 一斉下校	終業式 10:40 一斉下校 一緒に帰ろうDAY!	
20	21	22	23	24	25	26
	海の日		個別懇談	個別懇談	個別懇談	
27	28	29	30	31	<8月の主な予定> 8月13日(水)~15日(金) 学校閉庁日	
			学校保健委員会			
8/31	9/1	2	3	4	5	6
	始業式 10:30 一斉下校	水曜時程 発育測定 給食開始 4校時まで 13:30 一斉下校	発育測定 4校時まで 13:30 一斉下校	水曜時程 発育測定 5校時まで 14:20 一斉下校	口座振替日 水曜時程 5校時まで 14:20 一斉下校	
7	8	9	10	11	12	13
			委員会活動	チェリー班活動 アフタースタディ		

一年生

入学してから約4か月。1学期も、終わりが近づいてきました。1年生はすっかり学校に慣れ、勉強や遊びに一生懸命取り組んでいます。教室では、ひらがなや数字の学習をしたり、絵をかいたり本を読んだり…。汗だくになって遊んで、プールにも入って、毎日が忙しです。好奇心旺盛な1年生は、これからもたくさんの経験を通じて、大きく成長していきます！



人権講演会「今日から始める 心ひらく練習」

PTA 人権保体部

お忙しい中、人権講演会にたくさんの方に来ていただき、ありがとうございました。

今年度は、演題を「きく・はなす・かんがえる 今日から始める 心ひらく練習」として、中村経子さんにご講演いただきました。講演では、「人と人とのつながりの大切さ」や「一人ひとりのちがいを認め合うこと」「心がつらいときは誰かに『話す』ことで、つらさやストレスを『手放す』という選択肢がある」など、ゲームを交えながら、お話していただきました。

4・5・6年生の子どもたちが前のめりに聞く様子から、話に引き込まれていることがうかがえました。講演後、子どもたちは、「人それぞれ考え方や感じ方はちがうことがわかった。」「心にも限界があることを知ったし、困ったときやもし自分がそうなったときは、先生や家族に話をしてもいいのかもしれないと思った。」などの感想を聞かせてくれました。

子どもたちには、「じぶんはたいせつなひとり」であり、それと同じように「周りの人もたいせつなひとり」であることを感じていてほしいと思います。そして、0.0003%の奇跡といわれる、人との出会いの中で、「ちがいを認め合い、誰もが大切にされる社会の一員として、大きく成長していってくださることを願います。



引き渡し訓練

防災教育担当

授業参観、人権講演会に続いて、引き渡し訓練にご参加いただき、ありがとうございました。講演会後には、たくさんの方々が多目的ホールに集まってくださったことで、引き渡し訓練を行う目的や訓練の意義についてご理解をいただけたことに、改めて感謝申し上げます。

昨今は、予測がしにくいゲリラ豪雨や雷等での災害も多くなっており、大きな災害での引き渡しではなく、子どもたちの身の安全を確保するための引き渡しも実際に行っています。

さまざまな訓練を通して、その度に、「災害にそなえるには?」、「災害が起こった時には?」と考えています。訓練があったときには、ご家庭でも話題にあげていただければと思います。これからも、どうぞよろしくお願いいたします。